

# 『新・グループ討議の活用法』

研修における「参加者の主体的参加」という重要な要素を、効果的に展開できるツールのグループ討議。

しかし、往々にして“無駄話が多い”“発言する人が限られている”“狙った結果が出ない”等のことが見受けられます。

しっかりとしたグループ討議の設計も、講師に求められます。

今回は、そのポイントについて理解・整理し、グループ討議の活性化を参加者の皆様と学ぶ内容となりました。



## 【内容】

実際にグループに分かれて、ホワイトボードを1枚ずつ使い、グループ討議の具体的な有効性や、反面で発生する問題点とそれに対する対応策を話し合っていました。どのグループも熱心に話し合われ、各グループの発表中も他のグループから質問が飛び交い、メモを取られている様子が見受けられる、まさに効果的なグループ討議を体験された時間となったように思います。

アメリカ国立訓練研究所によるラーニングピラミッドにもあるように、グループ討議は有効的な学習方法の1つです。

